

令和7年4月28日

保護者様

荒川区立第一中学校長
小柴 憲一

不登校対応巡回教員について

東京都の事業で、区内のある中学校を拠点校とし、その中学校の教員1名が不登校対応巡回教員となり近隣の学校を巡回する制度で、荒川区では今年度から諏訪台中学校を拠点校として実施することとなりました。

巡回する教員は 高瀬 翔 先生といい、第一中学校・第三中学校・第五中学校・南千住第二中学校を巡回し、本校には毎週金曜日に朝から出勤する予定です。巡回教員の主な業務を例として挙げると、以下の通りです。

- 1 登校サポートルームに来室する不登校生徒の学習支援を行う。
- 2 SC・SSWと連携し情報を共有し、不登校生徒や保護者への支援を行う。
- 3 バーチャル・ラーニング・プラットフォーム(VLP)を活用し不登校生徒への支援を行う。
- 4 授業観察を行って生徒の様子を観察する。
- 5 校内の支援会議において、様々な不登校生徒の情報を共有するとともに、自身が観察した情報を提供し適切な支援方法を検討する。
- 6 教育センターや教育支援ルームみらいなど関係機関と連携を図りながら支援を実施する。

本校には、現在でも 小山 昌宏 登校サポートスタッフがおり、火曜日・木曜日・金曜日に出勤しております。登校サポートルームで学習支援をするだけでなく、門をくぐることに高いハードルを感じている子どもに対して、門まで迎えに行ったりするなどの支援もしております。

今後、高瀬 翔 不登校対応巡回教員の配置により、①登校したいけど登校できない、②登校しなければならないことは分かっているけど家を出ることができない、③家族や学校の先生の期待に応えたいけど、朝になると体が動かなくなるなど、最も深く傷つき悩んでいる本人やその家族をサポートしてまいりたいと思います。

【担当】荒川区立第一中学校 副校長 小林 美帆
TEL:03-3891-8354